

第31回総会・研究大会(宮城大会)第3次案内

大会テーマ

『 信頼と心の響きあいを大切にした学校教育相談
 ～東日本大震災を越えて私たちがめざすもの～ 』

第31回総会・研究大会(宮城大会)が近づいて参りました。

今大会における口頭発表、ポスター発表、自主シンポジウム、ラウンドテーブル等の内容についてお知らせいたします。

全国の皆様に「杜の都」仙台にお集まりいただき、被災地の復興の様子を直にご覧いただくとともに、会員相互の友情の輪を広げ、学校教育相談の更なる発展の機会となることを願っています。

日本学校教育相談学会会長 栗原 慎二
 第31回総会・研究大会名誉実行委員長 川島 克
 第31回総会・研究大会実行委員会委員長 山下 克郎

- 1 主催 日本学校教育相談学会
- 2 主管 日本学校教育相談学会宮城県支部
- 3 後援 文部科学省、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、宮城県小学校長会、宮城県中学校長会、宮城県高等学校長協会、宮城県特別支援学校長会、仙台市小学校長会、仙台市中学校長会、東北福祉大学
- 4 期日 令和元年8月9日(金)・10日(土)・11日(日)
- 5 会場 東北福祉大学 仙台駅東口キャンパス 仙台市宮城野区榴岡2-5-26 TEL 022-766-8833
 ○JR仙台駅東口より徒歩3分 ○地下鉄東西線宮城野通駅より徒歩3分
- 6 参加資格 本学会員、一般社団法人日本スクールカウンセリング推進協議会加盟学会員、教職員、対人援助職、教育学又は心理学等を専攻する大学生・大学院生、教員免許取得を目指す大学生・大学院生

7 日程

●8月9日(金)

9:00	9:30	12:00	13:00	16:00	16:30	18:00
受付	夏季ワークショップ	昼食	夏季ワークショップ	休憩	全国支部代表者会	

●8月10日(土)

9:00	9:30	11:00	11:40	12:30	13:30	17:00	17:30	20:00
受付	開会行事 総会	文部科学省 講演 (申請中)	記念講演	昼食	大会企画シンポジウム 研究・実践事例発表 ポスター発表、自主シンポジウム	移動	会員懇親会	

- 記念講演 演題 「脳を知り、脳を育む」
 講師 東北大学加齢医学研究所教授 川島 隆太 氏

- 大会企画シンポジウム
 テーマ 「東日本大震災を越えて私たちがめざす学校教育相談とは」
 コーディネーター 藤坂 雄一 先生(宮城県石巻市立釜小学校教諭)
 指定討論者 栗原 慎二 先生(日本学校教育相談学会会長)
 話題提供者 武内 敏英 先生(前福島県大熊町教育委員会教育長)
 佐藤 一也 先生(前岩手県立釜石高等学校長)
 千葉久美子 先生(日本学校教育相談学会宮城県支部副理事長)

●8月11日(日)

9:00	9:30	12:00	12:30	17:40
受付	研究・実践事例発表 自主シンポジウム・ラウンドテーブル		被災地視察(石巻(大川小学校遺構)) (希望者)	

8 研究・実践事例発表

発表主題・題目		発表者	所属支部	期 日
1	養育困難を抱える母親への短期面接プロトコル作成の試み ～複雑性PTSDへのEMDRを用いた簡易精神療法を活用して～	赤尾 宗一	京都府	10日 (土)
2	女子学生のやせ願望と要因 -やせ願望と自己肯定感・人間関係(母子関係・友人関係)との関連-	池田 清恵	栃木県	
3	子どもの心のサイン! ～保健室からの取り組み～	市川美奈子 相馬 誠一	埼玉県 埼玉県	
4	小中学校における教育相談コーディネーターを中心とした教育相談体制整備に関する試行的調査研究	五浦 哲也	北海道	
5	初等中等教育における広義の生徒指導の重要性に関する研究 -大学関連授業における学生の記述を通して-	胡田 裕教	大阪府	
6	学校教育相談の視点から教職員の「こころの健康」を支援する取り組み	及川 勉	東京都	
7	教育現場におけるアドラー心理学の効果的活用	大泉 徹 荒井 明子	千葉県 千葉県	
8	受験期の高校生の心理的課題に対する「PBISカルテ方式」を用いた支援の試み	大西 由美	岡山県	
9	カウンセリングの手法を活用したアクティブラーニングの試み ～高等学校における国語の授業の実践を通して～	大林幸一郎	宮城県	
10	子ども食堂立ち上げについて	菅野 京子	宮城県	
11	-生きる- ^{いのち} 生命の授業を通して ～小学6年生を対象に平成17年度から取り組んできた授業～	手島せい子	宮城県	
12	MLA協同学習尺度の開発の予備研究	中林 浩子 沖林 洋平 栗原 慎二	新潟県 山口県 広島県	
13	スクールカウンセラー活用のための手引書作成の試み	原 範幸	岡山県	
14	学年マルチレベルアプローチによる学校適応感の向上	細川 学	新潟県	
15	効果的なSC活用とチーム支援のあり方	村上 恵子	栃木県	
16	家族と課題作成に悩みを抱えるA子への対応Ⅱ ～2年間の関わりを通して～	川俣 邦彦	埼玉県	
17	定時制高校における教育相談活動 ～A高校における取り組みから～	坂本 高英	大阪府	
18	就職希望生徒に実施した新たな就職指導の取り組みについて	松下 眞治	大阪府	
19	高校2年から3年にかけての進路相談に関わる教師の影響	宮坂吉有樹	奈良県	(日)

9 ポスター発表

発表主題・題目		発表者	所属支部	期 日
1	衝動性の問題を抱える男子児童に対する教育相談的事例研究 -校内リソースを活用したタイムアウト法を中心に-	上井 勇一 岩瀧 大樹	群馬県 群馬県	10日 (土)
2	栄養教諭の職務と役割に関する一研究 -チーム学校運営への対応の視点から-	田中 将之	熊本県	
3	授業見学と児童の見立て共有を中心とした教員研修の効果検証	中村 孝	広島県	
4	中学校における有志研修会を利用した行動コンサルテーション が教師の支援行動に与える影響	吉村 浩二 嶋崎まゆみ	大阪府 兵庫県	

10 自主シンポジウム

	内 容	期 日	
1	テーマ： 学校現場実習の効果的実施に向けた学生支援	10日 (土)	
	企画者・司会者：荒井 明子(千葉県) 指定討論者：氏家 靖浩(仙台白百合女子大学) 話題提供者：岡 敬一郎(仙台白百合女子大学)、関塚 麻由(秀明大学)、大泉 徹(千葉県)		
2	テーマ：グループカウンセリングを活用した学級の仲間づくり		
	企画者：伊澤 孝(栃木県)、司会者：松本 直美(栃木県) 指定討論者：中村 恵子(東北福祉大学)、話題提供者：小谷野早苗(栃木県)、 金久保貴子(栃木県)、青木 眞琴(栃木県)、木村 晴美(栃木県)、森田 裕子(帝京短期大学)		
3	テーマ：一人一人のニーズに寄り添う対応 子どもを心を支える関わりをとおして		11日 (日)
	企画者・司会者：山口 真希子(新潟県) 指定討論者：山田 友明(新潟県) 話題提供者：浅嶋 美路(新潟県)、星 麻衣(新潟県)、山田 裕子(新潟県)		
4	テーマ：学校や学年で組織的に取り組む教育相談		
	企画者・司会者：井筒 正之(新潟県) 指定討論者：小林 勉(AISES) 話題提供者：石川美由紀(新潟県)、庄司 宗由(新潟県)、井筒 正之(新潟県)		
5	テーマ：児童一人ひとりが輝く学級経営における育てる教育相談		
	企画者・司会者：遠藤 美紀(新潟県) 指定討論者：渡辺 進(新潟県) 話題提供者：丸山 由希(新潟県)、住吉 泰斉(新潟県)、佐久間由希(新潟県)		
6	テーマ：MLA(マルチレベルアプローチ)における教育相談コーディネーターの役割		
	企画者・司会者：山崎 茜(広島県) 指定討論者：栗原 慎二(広島県)、話題提供者：米田 成(大阪市立下福島中学校)、 小山 晴美(宮城県東部教育事務所)、山崎 茜(広島県)		

11 ラウンドテーブル

	内 容	期 日
1	テーマ：支援を必要とする保護者との関わりを考える	11日 (日)
	企画者・司会者：渡辺 正雄(学会研修委員長) 話題提供者：狩野 政枝(宮城県)	
2	テーマ：被災地の学校を支える ー学会の被災地支援活動の在り方を考えるー	
	企画者：藤坂 雄一(学会調査研究委員)、司会者：松川 幸浩(学会災害被災者支援委員会現地委員) 話題提供者：木村 正男(学会調査研究委員長)、金子恵美子(学会調査研究委員)、 砥柄 敬三(学会災害被災者支援委員長)	

第20回夏季ワークショップのご案内

総会・研究大会の前日（8月9日（金））に、研修委員会主管で夏季ワークショップを下記の内容で開催いたします。ぜひご予定をいただけますようご案内申し上げます。

日本学校教育相談学会研修委員会委員長 渡辺 正雄

1 日程 8月9日（金）

受付 9:00～ 9:30 （会場 東北福祉大学仙台駅東口キャンパス）
コース別研修会 9:30～16:00 （会場 東北福祉大学仙台駅東口キャンパス）

2 内容・講師

- Aコース「学校コミュニティ・メンタルヘルス入門ー心の専門家から離れて」
講師：氏家 靖浩（仙台白百合女子大学）
- Bコース「再登校支援システムー神経症を伴う長期不登校に対する別室登校法」
講師：中村 恵子（東北福祉大学）
- Cコース「援助者の動機と影響力の問題ー事例検討と事例研究を相談に活かす」
講師：清水 めぐみ（東北福祉大学）
- Dコース「A I時代へアクティブラーニングを超えて ” 意志ある学び” へ！
ープロジェクト学習&対話ポートフォリオ」
講師：鈴木 敏恵（シンクタンク未来教育ビジョン・一級建築士）
- Eコース「思春期外来からの教育現場への提言ー思春期以降に顕在化する発達障害を中心として」
講師：星野 仁彦（福島学院大学）
- Fコース「教育相談に活かすマインドフルネス」
講師：越川 房子（早稲田大学）
- Gコース「学会誌投稿のためのレクチャーとアドバイスー実践論文・実践報告を中心に」
講師：長坂 正文（東京福祉大学）

3 ワークショップ参加費

	事前参加申込	当日参加
会員	6,000円	6,500円
日本スクールカウンセリング推進協議会加盟会員	6,000円	6,500円
学校カウンセラー	3,000円	3,500円
非会員	7,000円	7,500円
学生会員	3,000円	3,500円
学生非会員	3,500円	4,000円

※学校カウンセラーは3,000円が認定委員会より補助されるため、上記の金額となります。

※一般社団法人日本スクールカウンセリング推進協議会加盟学会は、日本学校教育相談学会、日本学校心理士会、日本キャリア教育学会、NPO日本カウンセラー協会、日本教育カウンセリング学会、日本カウンセリング学会、一般社団法人臨床発達心理士認定運営機構日本臨床発達心理士会で構成されています。

4 定員 各コース 30名程度

5 申し込み期間 令和元年4月4日（木）～7月5日（金）必着

6 申込みにあたってのご注意

- (1) 申込後のコース変更はできません。
- (2) 申込後に参加取消しの場合、代理人の参加は認めますが参加費の返金はありません。
- (3) 受付は先着順ですので、申込が定員に達した場合は第2希望にまわっていただきます。
- (4) 全日程を受講された方には研修修了証を発行します。
- (5) ガイダンスカウンセラー強化研修、学校カウンセラー・学校心理士の更新ポイントに該当します。

7 夏季ワークショップに関するお問い合わせ先

研修委員会委員長 渡辺 正雄 （携帯電話 090-2541-8338）

第20回夏季ワークショップ・講師の先生方による講座案内

Aコース「学校コミュニティ・メンタルヘルス入門ー心の専門家から離れて」

講師：氏家 靖浩（仙台白百合女子大学）

私が考えているのは、専門家にしかできないことではなく、する気になれば誰もができること、つまり発想を変えてすることで、難しい問題を解決する糸口を見い出せないかな、ということです。こうした、世の役に立たないことを真剣に考えることで、暗闇をしのいで夜明けを待つ「術(すべ)」と「思想」を持つのが、学校教育相談には必要だと考えており、それを味わう時間にしたいと考えています。たとえば、学校を休みがちな子どもがいたとすれば、学校に無理に来させるよりも、どんな理由があればみんなが安心して休めるのかな?といったことや休むことの不利益は何なんだろう?といったことを真剣に考えたりすることなのです。

全体の3分の2は、私からの提案(講義と映像)で、残った時間で少し話し合ったりゲームをしたりします。即効性は期待できません。消極的な方や七夕が終わったばかりの夏の仙台で、のんびり過ごしたいという方を歓迎します。

Bコース「再登校支援システムー神経症を伴う長期不登校に対する別室登校法」

講師：中村 恵子（東北福祉大学）

日本の不登校の特徴は、中学校での急増と小学4年以降の長期化にあります。学校不適応が起きると、未熟な自我は不安を身体化してうつや神経症を発症しがちです。また、不登校が長期化するほど学齢期の発達課題である勤勉性が損傷されやすく、成人期での社会適応にも影響してライフサイクルの危機を招き、8050問題など社会的問題にも発展します。本講座で紹介する別室登校法は、不登校の子どもを相談室や保健室などの別室で状態に合わせて個別支援を行い、段階的に教室復帰につなぐシェーピング法(認知行動療法の代表技法)です。開始期は、対人関係ゲームなど不安の拮抗制止法を用いて症状の改善をはかります。症状が安定したら、回復に即して登校を拡大して学習支援および仲間形成支援を行い、子どもの学校適応能力の改善による学級復帰を目指します。また、別室登校ではチーム支援が必須であるため、支援チームを対象にした機能分析法を紹介します。

Cコース「援助者の動機と影響力の問題ー事例検討と事例研究を相談に活かす」

講師：清水 めぐみ（東北福祉大学）

援助をする立場の人間は、善意から、よかれと思って、援助を行う。そうでありながら、そしてそれゆえにその援助が対象者にとって助けにならない(ように見える)ことや「援助」を通じて対象者に害をなすことも、またありえることである。後者では特に、援助者はあくまでも自分の善意からの行動を善行とみなして、それが対象者にとって害をなしていることに無自覚ですらある。しばしば援助においては対象者が「適応的」になることが目指されがちだが、これはとりもなおさず対象者のこころを置き去りにして援助者の価値観を押し付けることになるだろう。援助者はその行為を通じて、自分の有能さを確認しているのかもしれない。「援助者の<力>の問題」について述べたグッゲンビュール=クレイグの文献を参照しながら、普段見落としがちな援助者の動機とそれが対象者に与える影響について討議し、この点から事例を検討する。それを踏まえて、事例研究の意義を挙げ、事例から学ぶことを相談に活かすことを体験的に学ぶ。

Dコース「AI時代へアクティブラーニングを超えて”意志ある学び”へ！

ープロジェクト学習&対話ポートフォリオ

講師：鈴木 敏恵（シンクタンク未来教育ビジョン・一級建築士）

■ポートフォリオ・プロジェクト学習とは■ポートフォリオは「自己肯定感」「自尊感情」を育み、自分の心や行動を客観的に見る「メタ認知」を叶えるツールです。プロジェクト学習は課題発見、解決力、目標設定力、現実とのコミュニケーション力、自立、自律を育みます。ポートフォリオはデザイナーや建築家などの作品集。プロジェクト学習とは意志ある学びをコンセプトとした新しい教育のプラットフォームです。ポートフォリオは数値化できない評価を叶え、子どもたちが輝きます。■AI時代に求められる人間重視の哲学■AI時代、教育も変わります。定型化した仕事や標準化できることはテクノロジーに任せ、私たち人間はセンスや才能、一人ひとりの資質の開花、創造的な思考に注力する。プログラミングやロボットと違い、人間は、二人と同じ存在はありません、一人ひとりの個性やオリジナルなものを見方、多様性……AI時代に人間の存在はここに価値を持ちます。人間だけが未来を夢見て現実に立ち向かいます、ここにポートフォリオ・プロジェクト学習が次世代教育として応えます。当日は、学校教育相談に関わるみなさんへ課題解決スキルと活用ツールで楽しく役立つWSを展開します。

使用書籍

「AI時代の教育と評価-意志ある学びをかなえるプロジェクト学習 ポートフォリオ 対話コーチング」

教育出版/鈴木敏恵

Eコース「思春期外来からの教育現場への提言

思春期以降に顕在化する発達障害を中心として」

講師：星野 仁彦（福島学院大学）

知的障害やそれに伴う低機能の自閉症スペクトラム障害（ASD）などは幼児期に診断されて、特別支援学校や学級で適切な支援教育を受けることが多い。しかし、知的障害を伴わない高機能のASD、注意欠陥多動性障害（ADHD）や学習障害（LD）は、そうと気づかれぬまま通常（普通）学級に通うことが多い。しかし、学童期後半、即ち9～11歳の前思春期（小学4～6年生）になると、特に長文の読解・作文・聴き取りなどが必要な学業の遅れ、対人コミュニケーション（会話）の未熟さ、感情（情緒）の不安定、自己効力感（自己評価）の低下、孤立疎外感などが要因となって学校の集団場面で不適応を示し始め、思春期になると、行き渋り、不登校、多人数場面での社交不安障害（SAD）、反抗挑戦性障害（ODD）、非行、うつ状態、意欲減退、自傷行為、摂食障害、心身症などの様々な「心身症状」を「二次障害」（合併症）として示すことがある。当ワークショップでは、これらの思春期になってから顕在化する発達障害についてレクチャーしたい。

Fコース「教育相談に活かすマインドフルネス」

講師：越川 房子（早稲田大学）

本講座は「マインドフルネスの基礎を学ぶ」「マインドフルネスを体験する」「マインドフルネスを活用する」「マインドフルネスを教える」という4つの柱からなります。「マインドフルネスの基礎を学ぶ」では、マインドフルネスとは何か、なぜ効果があるのか（効果機序）を、簡単なゲームを通して学んで戴きたいと思えます。「マインドフルネスを体験する」では、基本的なマインドフルネス呼吸法をご一緒に実践します。実践に続く体験のシェアを通して、マインドフルネスについてさらに深く学んで戴きます。「マインドフルネスを活用する」では、忙しい教育実践の合間に、どのようにマインドフルネスを組み入れうるのか、について例をお示し致します。また「マインドフルネスを教える」では、最近イギリスで大きく展開されている“b（ドットb）プログラム”を中心に、児童・生徒にマインドフルネスをどのように教えるか、についてご紹介する予定です。

Gコース「学会誌投稿のためのレクチャーとアドバイス—実践論文・実践報告を中心に」

講師：長坂 正文（東京福祉大学）

本コースでは、日頃学校臨床という場にて、担任・養護教諭・相談係などとして実践を行われていらっしゃる先生方を対象として考えています。前半では、学会誌に投稿するにはどのようなことに留意すればよいのかという「レクチャー」です。具体的には、テーマをどう考えるか、内容はどのようにまとめるのか、論文にふさわしい表現は、考察の書き方、文献の探し方や引用の仕方、校正の仕方などです。また、こんな論文を書いてみたいというものを、できればA4で1枚にまとめていただき、事前にお送りいただきます（事前が難しい方は当日で結構です）。後半では、それに対して講師から「アドバイス」をさせていただき、持参したパソコンで修正していただきます。これを機会に、論文の書き方を身につけていただくとともに、論文として完成させて学会誌へご投稿いただけますように願っています。どうぞ、お気軽にご参加ください。

※ お申し込みはFAXまたは郵送にてお願いいたします。

1 申し込み期間と方法

- (1) 申込期間：平成31年4月4日(木)～令和元年7月5日(金)必着
- (2) お申込み・お支払い方法
 - ① 別紙の参加申込書にご記入の上、FAXまたは郵送でお申し込みください。
送付先は、申込書に記載してあります。
 - ② お申込みいただいた方に、JTBより予約確認書を送付いたします。
 - ③ 予約確認書を受け取ったら、令和元年7月26日(金)までに入金をしてください。
入金がない場合と7月27日(土)以降に入金された場合は当日扱いとなります。
「当日参加の参加費」または差額を当日ツアーデスクにてお支払いください。
 - ④ 支払いは銀行振り込みのみとなります。恐れ入りますが、振込手数料は各自お支払いください。
 - ⑤ 申込み手続き1回につき700円の取扱手数料が必要となります。

【振込先】

名義人	銀行名	店名	口座番号
株式会社JTB	みずほ銀行	十四号支店	普通 2137967

※ 銀行等の発行する払込票兼受領書(ご利用明細書)が領収書となります。

2 参加費のご案内

(1) 研究大会参加費

参加区分	研究大会参加費	
	事前参加申込	当日参加
会員	7,000円	8,000円
非会員	8,000円	9,000円
学生会員	2,000円	3,000円
学生非会員	3,000円	4,000円

(2) ワークショップ参加費

参加区分	ワークショップ参加費	
	事前参加申込	当日参加
会員	6,000円	6,500円
日本スクールカウンセリング推進協議会加盟会員	6,000円	6,500円
学校カウンセラー	3,000円	3,500円
非会員	7,000円	7,500円
学生会員	3,000円	3,500円
学生非会員	3,500円	4,000円

(3) 会員懇親会

令和元年8月10日(土) 18:00～20:30 TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台東口
料金：6,500円

(4) 弁当（お茶付き）

令和元年8月9日(金)・10日(土)
料金：1食1,000円(税込)

3 ホテルのご案内

「参加申込書」に第1希望、第2希望のホテル番号をご記入ください。

受付が先着順ですので恐縮ですが定員になった場合、第2希望、第3希望等にまわっていただきます。希望の施設が予約出来なかった場合でもキャンセル待ちは行いませんのでご了承ください。

ホテル番号	ホテル名	部屋タイプ	8/8 (木)	8/9 (金)	8/10 (土)	交通アクセス
1	ホテルJALシティ仙台	シングル	16,200円	17,800円	17,800円	JR仙台駅西口 徒歩3分
2	ダイワロイネットホテル仙台	シングル	14,000円	14,000円	18,000円	JR仙台駅東口 徒歩2分
3	ホテルモンテエルマーナ仙台	シングル	15,500円	10,200円	13,500円	JR仙台駅西口 徒歩3分
4	ANAホリデイ・イン仙台	シングル	12,900円	12,900円	12,900円	JR仙台駅東口 徒歩6分
5	ホテルビスタ仙台	シングル	12,000円	12,000円	13,000円	JR仙台駅東口 徒歩4分
6	アパホテルTKP仙台駅北	シングル	11,800円	11,800円	17,000円	JR仙台駅西口 徒歩5分
7	アパヴィラホテル仙台駅五橋	シングル	10,000円	10,000円	15,000円	JR仙台駅西口 徒歩8分
8	ホテルグリーンパシフィック	シングル	9,000円	9,000円	10,500円	JR仙台駅西口 徒歩4分
9	ホテルユニサイト仙台 ユニゾイン仙台	シングル	8,500円	8,500円	8,500円	JR仙台駅西口 徒歩3分

※ 上記金額はいずれも、1泊朝食付き 税・サービス料込のお一人様料金です。

4 オプションツアーのご案内

第31回総会・研究大会では大会会期中に新たな企画としてオプションツアーを主催します。多数のお申込みをお待ち申し上げます。

日次	行程
8/11 (日)	<p>12:30 13:45 14:00 14:15 15:30</p> <p>東北福祉大学仙台駅東口キャンパス === ◎道の駅上品の郷 === ◎震災遺構/大川小学校</p> <p>※貸切バス内で昼食弁当</p> <p>15:50 16:20 17:40</p> <p>=== ◎いしのまき元気市場(買い物) === 仙台駅東口</p>

<凡 例> ==貸切バス、・・・徒歩、●は入場観光、◎は下車観光、○は車窓観光

- 催行日時 令和元年8月11日(日)
- ご旅行代金 大人お1人様 9,000円
- 募集人員 定員40名様(最少催行人員20名様)
- 食事条件 朝食0回、昼食1回、夕食0回
- その他 添乗員は同行いたしません(宮城県支部より説明担当者が2名同乗します)
- 利用予定バス会社 東日本急行

5 申し込み後の変更・取消について

- (1) お申込みの変更・取消は、原則として令和元年7月26日(金)までとなります。
メールまたはFAXでご連絡ください。

※ ワークショップは、お申込後のコース変更・取消はできません。

お申込後に参加取消の場合、参加費の返金はありませんが代理人の参加は認めます。

(2) 参加取消の場合

- ① 大会参加費等は、7月27日(土)以降の取消については返金致しません。7月26日(金)までの取消の場合には、大会参加費等は返金致しますが、取扱料(700円)、振込手数料についてはご負担いただきます。その際、返金方法をお問い合わせさせていただきます。
- ② 宿泊についての取消は、下記の割合で取消料が発生します。

取消日	取消料
宿泊開始の8日前まで	無料
宿泊開始の7日前から4日前まで	(旅行代金の) 10%
宿泊開始の3日前から前々日まで	(旅行代金の) 20%
宿泊開始の前日	(旅行代金の) 40%
宿泊当日	(旅行代金の) 50%
無連絡の取消及び不泊	(旅行代金の) 100%

※ 取消後、上記取消料を差し引いた金額を返金致しますが取扱手数料は返金致しません。

- ③ 変更によって差額が生じた場合、大会終了後に調整させていただきます。

【 会場アクセスマップ 】

東北福祉大学仙台駅東口キャンパス・TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台東口



大会に関するお問合せ

第 31 回総会・研究大会(宮城大会)

実行委員会事務局長 中里 和裕

※ E-mail: nakatea81@gmail.com

※ FAX専用番号 0225-25-1512

※ お問合せはできるだけメールでお願いします。

申込確認・登録・宿泊に関するお問合せ

(お申込み・お問い合わせ)

受託販売

東京都知事登録旅行業第 3-7539 号

株式会社JTBビジネスネットワーク

「日本学校教育相談学会第 31 回総会・研究大会」係

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 3-23-14 ダイハツ・ニッセイ池袋ビル 6 階

TEL:0120-989-960(フリーダイヤル) FAX:0120-937-224(フリーダイヤル)

営業時間: 月～金 9:30～17:30(土・日・祝日休業)

総合旅行業務取扱管理者: 石倉 俊義

総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取扱う営業所での取引責任者です。
この旅行契約に関し、担当者からのご説明に不明な点がありましたら、ご遠慮なく上記旅行業務取扱管理者に
ご質問ください。

(旅行企画・実施): 株式会社JTB 仙台支店

観光庁長官登録旅行業第 64 号 仙台市青葉区大町 1-4-1
一般社団法人日本旅行業協会正会員／旅行業公正取引協議会会員

